

インフルエンザ(2025年第49週)疫学情報 《コメント》

2025年第49週の定点当たり報告数は38.51(患者報告数148,314)となり、前週の定点当たり報告数44.99よりも減少した。都道府県別では福岡県(65.56)、宮崎県(62.54)、長野県(57.04)、愛知県(53.37)、大分県(52.91)、埼玉県(50.82)、長崎県(48.73)、熊本県(48.17)、鹿児島県(48.12)、山口県(48.08)、新潟県(47.09)、京都府(46.55)、愛媛県(46.35)、岡山県(45.92)の順となった。全国47都道府県中、15都道府県では前週の報告数よりも増加し、32都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は1,951例であり、前週(2,263例)から減少した。47都道府県から報告があり、年齢別では1歳未満(107例)、1～4歳(322例)、5～9歳(281例)、10代(142例)、20代(36例)、30代(30例)、40代(32例)、50代(61例)、60代(132例)、70代(283例)、80歳以上(525例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近5週間(2025年第45週～2025年第49週)では、AH3亜型が284件(96%)、B型が8件(3%)、AH1pdm09が4件(1%)の順であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。